

Sansei Technologies

第 69 期 ご報告 株主のみなさまへ

2018年4月1日から2019年3月31日まで



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を 賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦等の国際情勢への懸念から、年度終盤には先行きへの不透明感が拡がりました。

このような環境下、当社グループは、2018年3月に世界 屈指の遊戯機械メーカーであるVekoma Rides B.V.(以下 Vekoma社といいます)を子会社化し、遊戯機械・舞台設 備・昇降機及び保守改修の4部門で、業績の向上に取り組 んでまいりました。



代表取締役社長 良知 昇

その結果、Vekoma社の業績が大きく寄与したことに加え、大型公共ホールの新設・改修が順調に進捗し、更に大規模コンサート向けの仮設設備も好調であったこと等により、売上高は52,794百万円(前期比93.6%増)、営業利益は4,319百万円(同95.3%増)、経常利益は4,284百万円(同83.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,746百万円(同96.3%増)と大幅な増収増益となり、売上・利益共に過去最高を記録し、前中期経営計画の数値目標を達成いたしました。

今後は、大阪・関西万博やカジノを含む統合型リゾート施設の開業準備など、ビジネスチャンスが大きく拡がることが期待されます。引き続きグローバル化の推進と共に、エンターテインメントやアミューズメント関連のニーズやシーズの発掘・創出や技術革新に取り組み、更なる成長に向けて邁進してまいります。

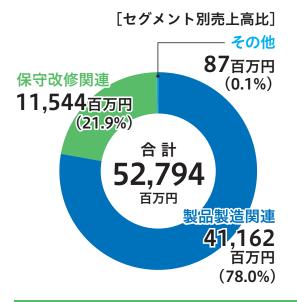
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

業績ハイライト

セグメント別概況

製品製造関連

製品製造関連は、遊戯機械部門で国内外の大型案件の進捗に加えVekoma社の業績が大きく寄与したこと、舞台設備部門も大型公共ホールの新設が順調に進捗し、大規模コンサート向けの仮設設備も好調であったこと等から、売上高は41,162百万円(前期比140.3%増)、セグメント利益は4,068百万円(同101.1%増)となりました。







御所ダムエレベータ (国土交通省北上川ダム統合管理事務所提供)

保守改修関連

保守改修関連は、舞台設備の改修案件において大口案件が寄与し、売上高は11,544 百万円(同14.7%増)、セグメント利益は1,604百万円(同17.2%増)となりました。

その他

売上高は87百万円(同4.9%増)、セグメント利益は15百万円(同1.5%増)となりました。

連結財務ハイライト







(注)当連結会計年度より「『税効果会計に係る会計基準』の一部 改正」を適用しているため、2018年3月期について、遡及処 理後の数値を記載しております。



トピックス

アジア初のハイブリッドコースター「白鯨」(HAKUGEI)をナガシマスパーランドに納入

ナガシマスパーランドの「ホワイトサイクロン」が、アジア初のハイブリッドコースター「白鯨」(HAKUGEI)として今春生まれ変わりました。

「白鯨」は、「ホワイトサイクロン」の最大の特徴であった白い木製の構造体に、鋼鉄を組み合わせることで、より複雑なコースレイアウトを

可能としています。最大傾斜角度80度から最高速度107km/hで急降下し、360度回転するコークスクリュー、車両が真横を向く90度バンクなど、スリリングかつ爽快感あふれるコースターです。





ポーランドの遊園地LegendiaにBermuda Blitzを納入(Vekoma社)

Bermuda Blitzは、スリリングな高速ルーピングコースターとして、Vekoma 社が新たに開発したものです。

ねじれながらの垂直落下、数多くのツイスト、浮遊感を味わう ことのできる急勾配や回転など、コンパクトなコースにたくさん

のサプライズが詰まって います。さらに、、コース ターからのすばらしい感が めと、独特のスリル感が 合わさることで、コース の最後までお客様にしる きと興奮、そして楽コー を感じていただけるコー スターとなっています。





札幌文化芸術劇場「hitaru」に舞台機構を納入

官民連携の再開発事業によって、新しい札幌を創造する拠点「さっぽろ創世スクエア」が誕生しました。低層棟には、北海道初となる多面舞台劇場 (2,302席) を有する札幌市民交流プラザが竣工し、札幌・北海道の文化の殿堂を目

指す施設が開館しました。

当社は、吊下げ式一体型音響反射板と拡張性の高い次世代型制御システムを納入し、優れた音響空間と、ハイエンドな演出に彩られたオペラやに出に彩られたオペラや空間の両方を実現しました。





堺市民芸術文化ホール「フェニーチェ堺」に舞台機構を納入

本施設は、音楽系を中心にオーケストラ・オペラ・バレエ等の多彩な舞台芸術をはじめ、大会や集会等にも対応可能な大ホール(2,000席)、音楽・演劇・伝統芸能など市民の多様な文化芸術の発表や集会などに対応可能な小ホール(312席)を備えた多目的ホールです。

当社は本施設の舞台機構 設備を施工納入しました。 基幹制御システムを採用 し、最新式の全台電動昇降 式の吊物機構にシーン運転 機能を備えた、高性能で多 機能な設備を有するホール になっています。





連結財務諸表

当社は、2018年3月30日にVekoma社を買収しました。これにより、前連結会計年度にはVekoma社の貸借対照表を、また当連結会計年度には同社の損益を加えた連結財務諸表を作成しております。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

之。而天而乃(太师)/		(+14.11)
科目	第69期 当連結会計年度 (2019年3月31日現在)	第68期 前連結会計年度 (2018年3月31日現在)
資	産の部	
流動資産	37,807	34,852
固定資産	31,381	31,637
有形固定資産	10,671	10,368
無形固定資産	14,098	15,984
投資その他の資産	6,611	5,285
資産合計	69,188	66,489
負	債の部	
流動負債	19,707	18,807
固定負債	18,998	19,089
負債合計	38,706	37,897
純資	資産の部	
株主資本	28,597	26,425
資本金	3,251	3,251
資本剰余金	2,429	2,424
利益剰余金	23,359	21,212
自己株式	△443	△462
その他の包括利益累計額	1,770	2,067
その他有価証券評価差額金	1,394	1,392
繰延ヘッジ損益	8	25
為替換算調整勘定	362	649
退職給付に係る調整累計額	4	△0
新株予約権	114	100
純資産合計	30,481	28,592
負債純資産合計	69,188	66,489

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)	
----------	--

第69期 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	第68期 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
52,794	27,277
39,365	19,601
13,429	7,675
9,109	5,463
4,319	2,211
197	237
232	112
4,284	2,337
11	73
_	1
4,295	2,409
1,383	978
165	32
2,746	1,398
_	_
2,746	1,398
	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) 52,794 39,365 13,429 9,109 4,319 197 232 4,284 11 — 4,295 1,383 165 2,746

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)(単位:百万円)

科目	第69期 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	第68期 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,647	△579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,004	△16,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,872	16,068
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	△12
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△1,271	△650
現金及び現金同等物の期首残高	10,583	11,234
現金及び現金同等物の期末残高	9,311	10,583

株式の状況・会社概要

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	19,332,057株
株主数	4,136名

大株主

(2019年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
鳥海節夫	1,582	8.58
GOLDMAN,SACHS& CO.REG	1,123	6.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,021	5.54
京阪神ビルディング株式会社	828	4.49
株式会社三井住友銀行	805	4.37
株式会社三重銀行	805	4.37
株式会社酉島製作所	801	4.34
三井住友ファイナンス&リース株式会社	693	3.76
三井住友カード株式会社	692	3.75
丸一鋼管株式会社	652	3.54

注: 当社は、自己株式880,197株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。 また特株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要

(2019年3月31日現在)

商 号: 三精テクノロジーズ株式会社 (Sansei Technologies, Inc.)

設 立:1951年2月27日 資 本 金:3,251百万円

従業員数:1,134名(連結)277名(単体)

本社所在地: 〒532-0003

大阪市淀川区宮原4丁目3番29号

TEL 06-6393-5621 FAX 06-6393-5701

株式分布状況

(2019年3月31日現在)

חער און דער און		(2017-	3月31日兆江/
所有者別	株主数(名)	株式数(千株)	株式数比率(%)
個人・その他	3,942	4,833	25.00
金融機関	17	4,289	22.19
その他国内法人	77	6,258	32.37
外国人	70	2,889	14.95
証券会社	29	180	0.94
自己名義株式	1	880	4.55
所有株数別	株主数(名)	株式数(千株)	株式数比率(%)
1~99株	438	12	0.06
100~499株	2,356	391	2.02
500~999株	390	232	1.21
1,000~4,999株	757	1,299	6.72
5,000~9,999株	82	543	2.81
10,000~49,999株	77	1,430	7.40
50,000~99,999株	7	481	2.49
100,000株以上	28	14,061	72.74
自己名義株式	1	880	4.55

役員一覧

(2019年6月27日現在)

代表取締役会長:中川 代表取締役社長執行役員: 良 知 昇 代表取締役副社長執行役員 : 大志万 博 取締役専務執行役員:江 取締役執行役員:宮 也 締役執行役員:野 社 外 取 役 : アイアトン ウィリアム 社 外 取 役:大野 社 外 取 役:安藤よし 監 杳 役:皆 木 啓 社 外 監 役:池 査 社 外 査 役:安 JII 喜久夫 汁 査 役:垣

株主メモ

事業年度:毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会: 毎年6月開催

日:●定時株主総会

●期末配当金 毎年3月31日

毎年3月31日

●中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、 口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主 さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および : 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人: 大阪市中央区北浜4丁目5番33号

事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) : 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先): ☎0120-782-031

インターネットホームページURL

https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公 告 の 方 法 : 当社のホームページに掲載する。

(https://www.sansei-technologies.com/ir/announcement/)

金融商品取引所 : 東京証券取引所 第2部



